

2018年度 自然保育推進事業 活動報告書

1 福山市立郷分幼稚園

2 今年度の活動概要

(1) 環境構成に関すること

本園は、市の中心部より少し離れた田園地帯に位置し、東に芦田川、西に萱野山があり自然環境に恵まれています。本園には子どもたちが身近な自然によくかかわり、季節を感じながらのびのびと遊ぶ姿があります。また、地域にある唯一の公共施設であるため、田植え、稲刈り、栗ひろい体験など、地域の方からたくさんの協力を得ています。春は土手のつくし採りや段ボール土手すべり、夏は、みんなで山へ木を取りに行きツリーハウス作り、秋は木の実ひろいやイチョウの落ち葉ひろいをして落ち葉温泉作り、冬は霜柱見つけと土手沿いのマラソンなど、1年を通して園周辺の自然散策に出掛け、それぞれに見つけた物を園に持ち帰って遊びを楽しむ姿があります。



(2) 特に印象的だった遊びの事例に関すること

5月 【ツバメの赤ちゃんが見えた！】 【あおむしからアゲハチョウが生まれたよ！】



「たまごの殻が落ちていたよ」



6月 【水・砂・土の感触を味わい、繰り返し試して遊ぶ】



「地域の方に田植えの仕方を教えてもらったよ」



「砂場温泉を作ったよ」



「土山にパイプを埋めて水を流したらどうなるのかな？」

7・8月 【くすのきツリーハウスをつくろう】【とっておきの夏の遊び】



「山へ木を探りに・・・」「くすのきの周りに木を置いて・・・」「完成！！秘密基地みたいだね」



「セミ、みつけた～！」「とうもろこしが獲れたよ」「獲れたてをいただきます！」

9月 【水辺公園ちゃぶちやぷランドで遊ぼう】



「手をつないで行こうね」「大きいバッタをつかまえたよ！」「ダンボール草すべり楽しいな」

10月 【栗ひろい・木の実みつけに行こう】【秋の実レストランをしよう】



「みんなで拾った木の実が
おいしそうながちそうに
なったよ！」



11月 【稲刈り・新米パーティをしたよ】【落ち葉温泉を作ろう】



「かかしをつくりました」



「稲刈りをしたよ」



「新米おにぎりを食べたよ！」



落ち葉温泉



稲わら温泉



イチョウ温泉

3月 【春みつけ～つくし採りに出掛けよう】



「みつけた！」



「みてみて～」



「ここにもあったよ」



「たくさんみつけたよ」



「春みーつけた！」



「みんなで分けっこしようね」

3 身近な自然とのかかわりのなかで

子どもたちは身近な自然に触れ、全身を使って遊んでいます。

また、遊びの面白さや気づきをことばで伝え合い、考え合いながら、自分たちで工夫して遊ぶ力が育っています。土や水、砂などの可塑性は子どもの遊び心をくすぐりさまざまな発見や試行錯誤をする力を生み出します。こうして主体的に遊ぶ子どもの姿は生き生きとしています。これからも子どもたちと共に、自然の恵みのありがたさを感じながら、驚きや喜びに共感し、身近な自然を大切に作る心を育てていきたいと思ひます。